

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	これまで、当事業所での事案が起こらない限り身体拘束委員会を開いていなかった。	身体拘束委員会を3ヶ月に1回以上、定期的に開催し、事案がない場合でも身体拘束について考える機会を作る。	運営推進委員の方に身体拘束委員に加わっていただき、外部の意見も取り入れられるようにする。 身体拘束委員会は運営推進会議とともに開催する。	12ヶ月
2	10	これまで、利用者や家族等のお話や要望を聞きながら、“楽しみ”や“いいこと”を考えていたが、記録を残せていなかった。	介護記録の書き方を見直す。	利用者や家族等と話したときの、具体的な内容を介護記録に残し、利用者の日常に活かす。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。